| | |
|---|---|
| 種名 | メスグロヒョウモン<br>Damora sagana<br> |
| 分類 | タテハチョウ科 |
| 形態 | 前翅長 30～40mm。♂と♀ではまったく斑紋が異なる。♀の翅長はイチモンジチョウ類の斑紋に似る。地色は黒褐色、前後翅に白色斑がある。初心者はよく、オオイチモンジと間違える。♂は他の大型ヒョウモン類に似る。翅表の黒斑は小さく、前翅表に4本の発香鱗条をもつ。後翅裏面の白色条は、直線条になる。 |
| 分布 | 北海道、本州、四国、九州（壱岐・対馬を含む）。 |
| 出現期 | 年1回の発生。暖地では6月初めから現れ、夏期には山地・寒冷地を除いて姿を消すが、樹林内やその周辺で見ることがある。秋に再び姿を見せる。羽化後すぐに交尾する場合と、秋にも交尾を行う場合がある。♀は晩秋まで見られ、産卵行動をとる。1齢幼虫で越冬する。 |
| 生態 | 雑木林の周辺に棲み、活発に飛び回る。クリ、ウツギ、オカトラノオなどで吸蜜。地上で吸水する。 |
| 食樹 | スミレ科のタチツボスミレ、ツボスミレなど。 |
| 幼虫<br>（幼生期） | 体長 45mm。地色は黒色、前胸部の突起が長い。胴部には棘をもつ。 |
| 出現時期 | （月）　－　－　－　－　－　6　7　8　9　10　－　－ |
| その他 | |

参考文献：検索入門　渡辺康之著　チョウ